

第14回「県内企業景気動向調査」結果 (平成20年2月調査)

【景気動向調査の要旨】

- ◆ 今期(平成19年10-12月期)、県内企業の業況判断を示すDI値(「自社の業況」DI値)は19.9(前年同期比)であり、前回調査時点(平成19年11月)より1.0ポイント改善した。県内景気は低調ながらも横ばいとなっている。
- ◆ 業種別に見ると、製造業で持ち直しの動きがみられた。他の3業種ではほぼ横ばいで推移している。
- ◆ 地域別に見ると、村山南部、村山北部で持ち直しの動きがみられたほか、最上、置賜、庄内飽海はおおむね横ばいで推移している。庄内田川は3四半期連続で低下するなど弱含んでいる。
- ◆ 業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が28.1となるなど、弱含みの兆しがみられる。

【特別調査の要旨】

平成20年4月入社予定の新卒者採用状況について

「新規学卒者の採用がある」と回答した企業は全業種で25.2%であり、前年比3.7%減少している。

春季以降の賃金改定動向について

春季以降に定期昇給・ベースアップを実施する予定がある企業は31.8%であった。

平成20年2月

株式会社荘銀総合研究所

山形県の景気動向

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I値（「自社の業況」D I値）でみて、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I値（前年同期比）は 19.9 となっており、前回調査時点（平成 19 年 11 月）と比べて 1.0 ポイント改善するなど、景気はおおむね横ばいで推移している。

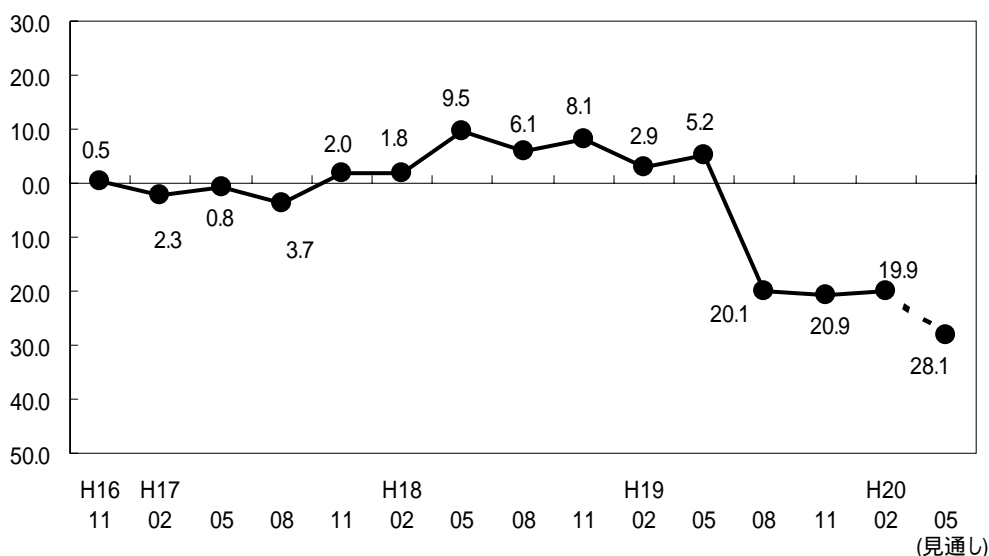
業況の先行き見通しは、自社の業況D I値が 28.1 となるなど、弱含みの兆しがみられる。

各D I値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	5.2	(1.0)	1.2	5.9	0.0	6.6
H 19.08	20.1	(14.5)	13.5	19.6	4.8	13.1
H 19.11	20.9	(11.7)	14.7	21.8	6.9	18.6
H 20.02	19.9	(14.0)	12.3	27.9	1.5	23.3
H 20.05(見通し)	28.1	(-)	20.7	27.9	4.1	31.7

「売上高」D I値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

「自社の業況」D I値（前年同期比）の推移



2. 業種別の動向

(1) 建設業

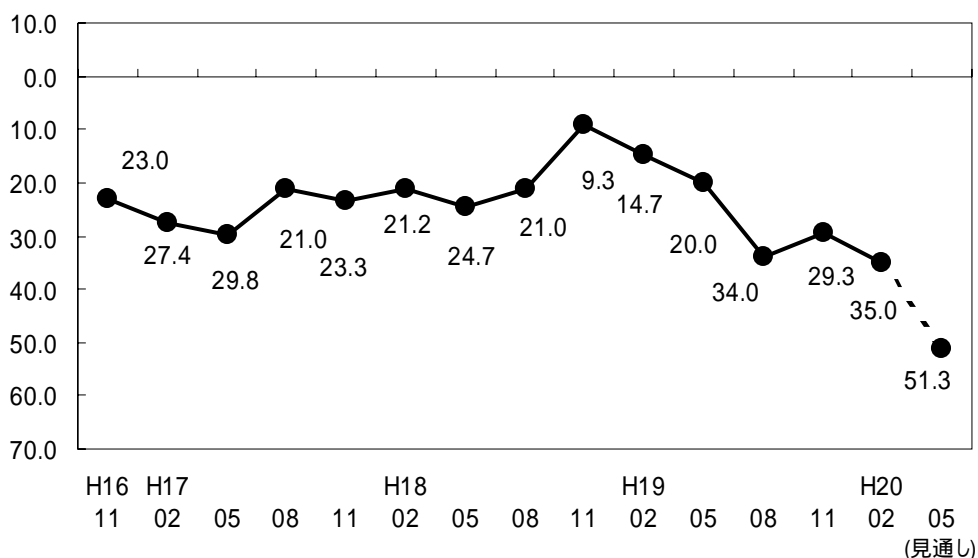
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」DI値（前年同期比）は35.0となっており、前回調査時点と比べて5.7ポイント低下するなど、低調に推移している。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が51.3となるなど著しい悪化の兆しがみられる。

各DI値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		完成	営業	手持	人員	資金
		(前期比)	工事高	利益	工事高	人手	繰り
H 19.05	20.0	(21.0)	14.3	24.7	18.0	16.2	18.1
H 19.08	34.0	(31.0)	35.0	29.0	33.0	22.0	27.0
H 19.11	29.3	(17.3)	32.8	30.2	18.9	7.7	28.4
H 20.02	35.0	(25.7)	40.2	47.0	32.4	19.7	35.0
H 20.05(見通し)	51.3	(-)	48.8	49.6	52.2	18.9	50.4

「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



(2) 製造業

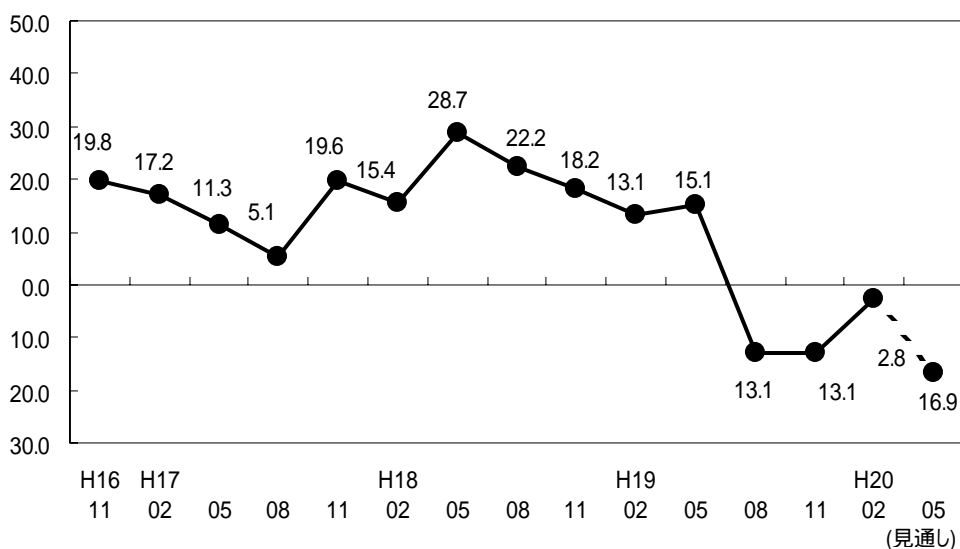
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は 2.8 となっており、前回調査時点と比べて 10.3 ポイント改善するなど持ち直しの動きがみられる。

業況の先行き見通しは、自社の業況 D I 値が 16.9 と再び低下するなど一進一退で推移する見込み。

各 D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
		(前期比)						
H 19.05	15.1	(13.5)	0.0	0.0	69.8	14.3	6.4	0.8
H 19.08	13.1	(8.5)	8.5	12.4	73.6	9.3	0.0	3.1
H 19.11	13.1	(3.6)	10.2	17.5	78.1	13.1	7.3	8.8
H 20.02	2.8	(2.1)	6.3	19.8	79.6	12.6	4.9	9.1
H 20.05(見通し)	16.9	(-)	8.5	24.6	66.2	28.2	0.7	18.3

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(3) 卸・小売業

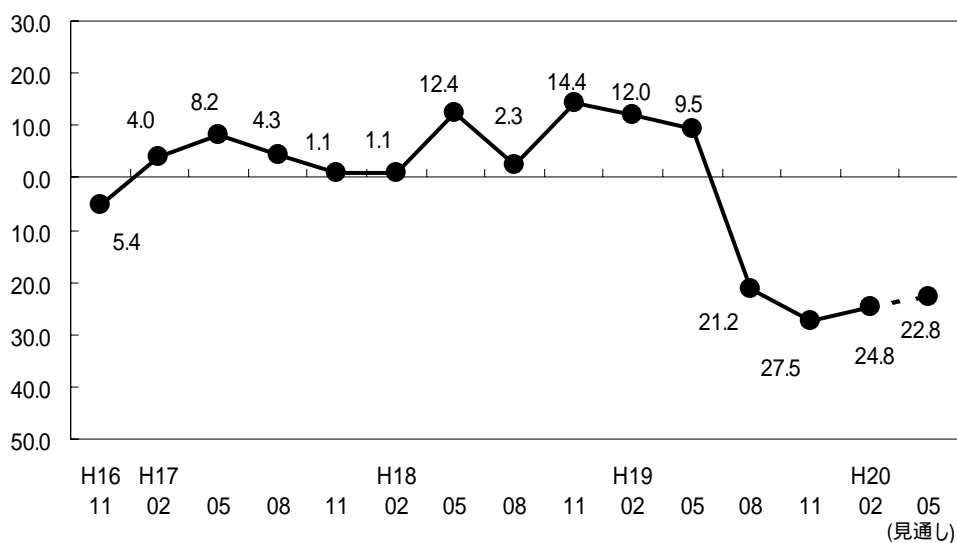
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は 24.8 となっており、前回調査時点より 2.7 ポイント改善するなど、下げ止まりの兆しが見られる。

業況の先行き見通しは、自社の業況 D I 値が 22.8 となるなど、おおむね横ばいで推移する見込み。

各 D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
		(前期比)						
H 19.05	9.5	(3.8)	6.6	3.8	39.0	5.7	0.9	0.0
H 19.08	21.2	(9.1)	6.1	29.3	40.4	16.2	0.0	15.1
H 19.11	27.5	(16.5)	6.4	25.7	48.7	6.5	1.8	20.1
H 20.02	24.8	(11.4)	8.5	27.6	59.1	19.1	1.9	27.6
H 20.05(見通し)	22.8	(-)	17.1	20.0	54.3	35.2	2.9	30.4

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(4) サービス業

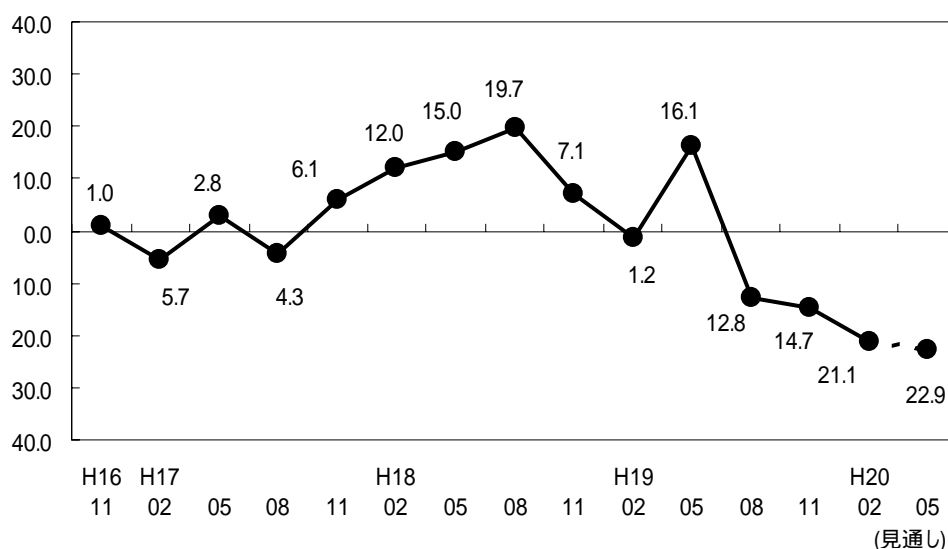
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は 21.1 となっており、前回調査時点より 6.4 ポイント低下するなど弱含んでいる。

業況の先行き見通しは、自社の業況 D I 値が 22.9 となっており引き続き低調に推移する見込み。

各 D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	16.1	(5.8)	3.4	3.5	9.2	9.2
H 19.08	12.8	(10.5)	4.7	8.1	2.3	9.3
H 19.11	14.7	(10.8)	8.8	13.7	14.7	18.7
H 20.02	21.1	(19.3)	10.1	18.3	10.1	24.8
H 20.05(見通し)	22.9	(-)	10.1	16.6	6.4	30.2

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



3. 地域別の動向

(1) 概況

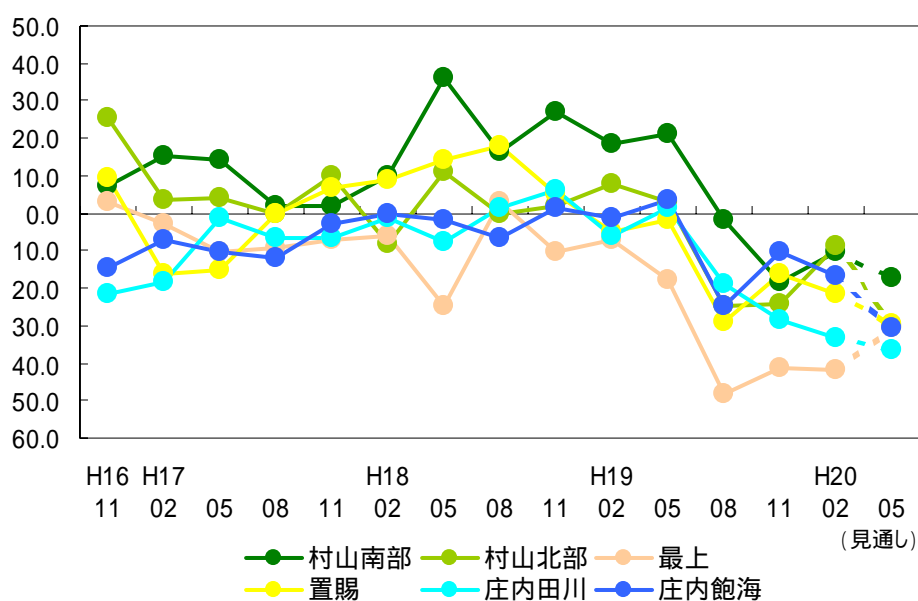
県内各地の景気動向は、「自社の業況」D I 値(前年同期比)が全ての地域で「悪い」超。村山南部、村山北部で持ち直しの動きがみられたが、最上、置賜、庄内飽海はおおむね横ばいで推移している。庄内田川は3四半期連続で低下するなど弱含んでいる。

業況の先行き見通しは、最上を除く5地域で弱含みの展開となる模様。今期持ち直しのみられた村山南部と村山北部で回復の期待感に乏しい展開となる見込み。

地域別「自社の業況」D I 値(前年同期比)

(前年同期比) (調査時点)	村山 南部	村山 北部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海
H 19.05	21.3	3.1	17.7	1.8	1.2	3.7
H 19.08	1.8	24.6	48.4	29.1	19.0	25.0
H 19.11	18.5	24.3	41.2	16.4	28.6	10.6
H 20.02	10.3	8.9	41.7	21.5	33.3	16.8
H 20.05(見通し)	17.1	29.9	30.6	29.3	36.6	30.5

地域別「自社の業況」D I 値(前年同期比)の推移



(2) 各地の主要D I 値の動向

村山南部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.11	18.5	(14.3)	15.1	14.3	9.2	10.9
H 20.2	10.3	(1.7)	0.8	21.4	5.1	15.4
H 20.5(見通し)	17.1	(-)	14.5	24.8	0.8	22.2

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.11	17.7	10.7	20.6	22.5
H 20.2	15.0	14.3	9.7	5.2
H 20.5(見通し)	40.0	21.4	12.9	5.3

村山北部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.11	24.3	(7.6)	9.1	31.8	6.1	13.7
H 20.2	8.9	(11.9)	1.5	17.9	7.5	19.4
H 20.5(見通し)	29.9	(-)	23.9	34.4	14.9	32.8

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.11	22.2	24.1	50.0	0.0
H 20.2	17.7	12.5	44.5	33.3
H 20.5(見通し)	47.0	18.7	22.2	44.5

最上

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.11	41.2	(1.8)	29.4	35.3	3.0	38.2
H 20.2	41.7	(25.0)	47.2	61.1	16.7	55.5
H 20.5(見通し)	30.6	(-)	19.5	36.1	13.9	58.3

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.11	53.3	42.9	28.6	20.0
H 20.2	57.9	14.3	16.6	50.0
H 20.5(見通し)	52.6	14.3	16.6	25.0

置賜

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.11	16.4	(14.9)	0.0	14.9	4.4	10.5
H 20.2	21.5	(26.1)	3.1	23.1	1.6	18.4
H 20.5(見通し)	29.3	(-)	20.0	26.2	1.6	23.1

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.11	46.1	7.7	15.0	0.0
H 20.2	46.1	4.4	33.3	27.3
H 20.5(見通し)	53.8	21.8	22.2	27.3

庄内田川

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.11	28.6	(13.1)	35.7	29.7	4.8	26.2
H 20.2	33.3	(22.6)	26.9	36.6	9.7	29.1
H 20.5(見通し)	36.6	(-)	29.0	31.2	8.6	34.4

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.11	31.8	37.5	21.0	21.0
H 20.2	60.9	18.5	17.4	40.0
H 20.5(見通し)	65.2	18.5	34.8	30.0

庄内飽海

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.11	10.6	(7.5)	4.2	17.0	16.0	26.6
H 20.2	16.8	(13.6)	14.8	25.2	8.5	21.0
H 20.5(見通し)	30.5	(-)	18.9	22.1	6.3	35.8

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.11	19.3	26.1	47.4	4.7
H 20.2	16.0	4.0	44.4	18.5
H 20.5(見通し)	16.0	4.0	38.9	33.3

・景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別に「自社の業況」D I 値（前年同期比）を5段階に分けて図解したものです。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調 DI > 30	好調 30 > DI > 10	まあまあ 10 > DI > 10	不振 10 > DI > 30	きわめて不振 30 > DI

前期の概況（平成19年11月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

今期の概況（平成20年2月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し（平成20年2月調査）

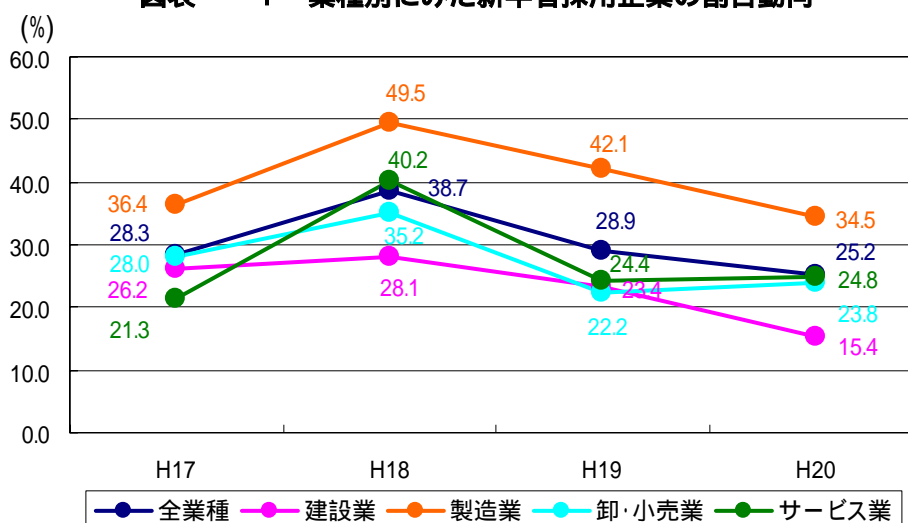
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

・特別調査 : 平成20年4月入社予定の新卒者採用状況について

新卒者の採用企業は4社に1社

平成20年4月入社予定の新規学卒者採用の有無について聞いたところ、「新規学卒者の採用がある」と回答した企業は全業種で25.2%であり、前年比3.7%減少している(図表-1)。業種別では、製造業で34.5%の企業が採用を行ったと回答しており、引き続き他の業種に比して積極的に採用を行っている。

図表 - 1 業種別にみた新卒者採用企業の割合動向



なお、「新規学卒者の採用がある」と回答した企業に対し採用者数の前年比を聞いたところ、いずれの業種でも「増えた(増やした)」と回答した企業が「減った(減らした)」と回答した企業の割合を上回った(図表-2)。

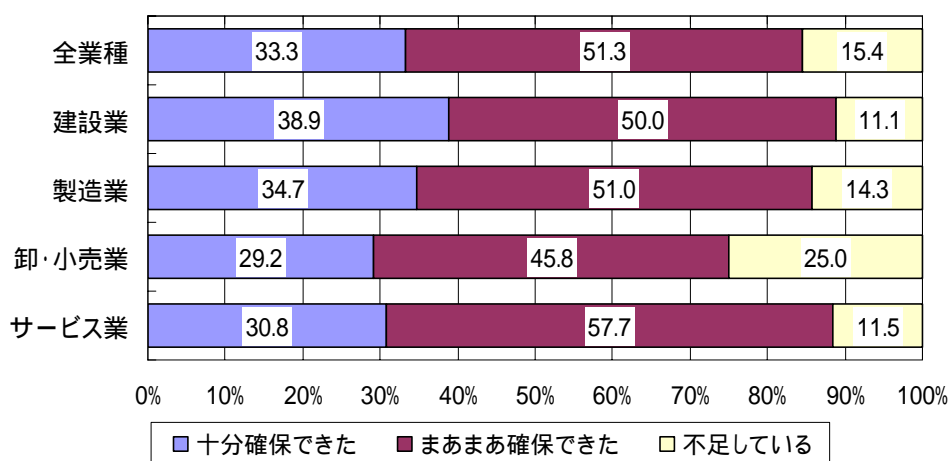
図表 - 2 新卒者採用の前年比

	(%)			
	増えた (増やした)	変わらない	減った (減らした)	DI
全業種	47.5	28.0	24.6	22.9
建設業	44.4	33.3	22.2	22.2
製造業	50.0	25.0	25.0	25.0
卸・小売業	44.0	36.0	20.0	24.0
サービス業	48.1	22.2	29.6	18.5

DI値 = 「増えた(増やした)」の構成比(%) - 「減った(減らした)」の構成比(%)

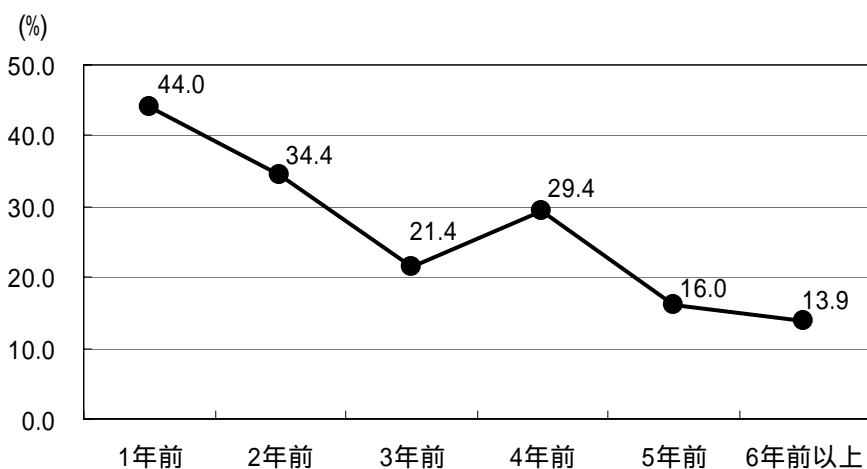
また、採用計画と比べた充足感について聞いたところ、全業種でみて「十分確保できた」と「まあまあ確保できた」を合わせ「確保できた」と回答した企業が84.6%であった（図表 - 3）。業種別では、いずれの業種においても約8割の企業で充足感があり、計画通りの採用実績となった模様。

図表 - 3 業種別にみた新卒者の充足感



一方で、「新規学卒者の採用がない」と回答した企業に対し、来年度以降の新卒者採用を考えているかどうかを聞いた（図表 - 4）。最後に新卒者を採用したのは「1年前」と回答した企業では44.0%の企業が来年度以降の新卒者採用を「考えてはいる」と採用に意欲を見せたものの、最後に採用した年から時間が経過している企業ほど採用に消極的になっている様子もうかがえた。

図表 - 4 最終採用年度ごとの今後の採用予定企業の割合



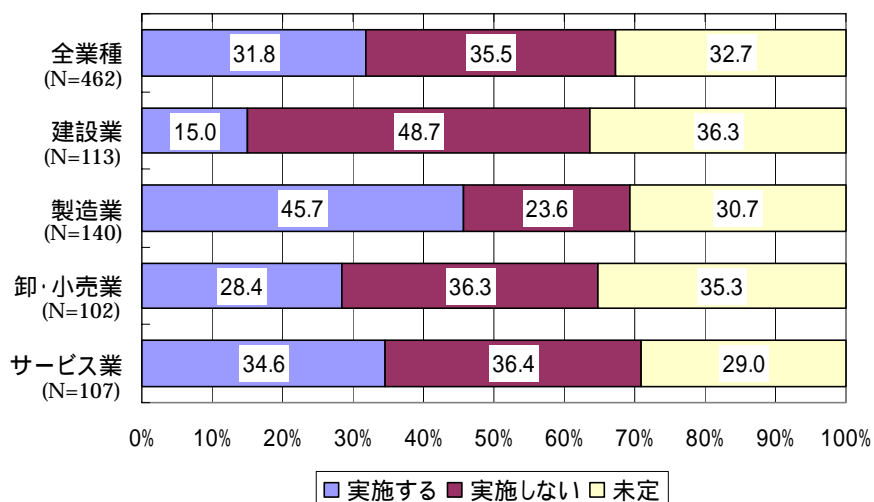
・特別調査 : 春季以降の賃金改定動向について

3割の企業が定昇・ベアを予定

春季以降に定期昇給・ベースアップの実施を予定しているかどうか聞いたところ、全業種でみて31.8%の企業が「実施する」と回答した(図表 - 1)。

業種別では、製造業で「実施する」と回答した企業の割合が最も高く45.7%であったが、建設業では15.0%となるなど業種間でのバラツキが目立った。

図表 - 1 業種別にみた定期昇給・ベースアップの動向



・ 調査の概要

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

平成20年2月1日（金）～15日（金）

● 調査の対象企業数および有効回答数（回答率）

調査対象企業数：906社

有効回答企業数：473社（回答率52.2%）

● 地域区分

図表 - 1 の通り。

図表 - 1 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。定例調査の項目は図表 - 2 の通り。

図表 - 2 定例調査項目と回答の選択肢

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況DI値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ(<http://www.net.sfsi.co.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.sfsi.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

以 上

<お問い合わせ先>

株式会社荘銀総合研究所

研究開発グループ 熊本/齋藤(信)/草苅

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL: 023-626-9017 FAX: 023-626-9038

E-mail: kenkyuu@sfsi.co.jp URL: <http://www.sfsi.co.jp/>